夕刊
磐城新聞
六月十四日發行
定價 一部金五錢 一ケ月金六拾錢(郵稅拾五錢)
廣告料 普通欄金六拾錢 記事欄金九拾錢(五號十二字詰一行一回)
發行所 磐城新聞合名會社
(日曜祭日翌日休刊)

アゴの話 (三)

在名古屋 松村亭

そのプログニィ、顎の大きい方ですね。それは一寸見ては、さあ私から云はせるならそう大して變だと云ふ程ちやないのです。ですが兎に角下顎が前から見て非常に張つてゐて横から見ると前にひどく突き出してゐて、それの爲に頰の肉が前に持つて行かれて鼻が頰と頰との間に埋もれて見えます。と云つてその鼻、そのものはどうして日本人としては仲々高いすぢの通つか格好のいゝ鼻なんですがね。それから口を開けさせると口が又一寸大きいのです。そして咬ませると上顎と下顎は眞直には咬まずに斜に嚙み合さる、つまり上右から下左へと云ふ風にですね。まあ良く云へば西洋人の顎、惡く云つたらゴリラの鼻から下を下顎へつけたようなものと思へばいゝんですな。ですから私共から見れば只、顎骨が大きいだけでその人にとつて大した影響もないんぢやないかと思ふのはそう思ふのですが、どうして當人はその顎の事で大へん悲觀してそれで未だ結婚もせずにゐるのですが何か他人がヒソ／＼話してゐるのを見ては自分の顎の事を噂してゐやがるんぢやないかと思つたり、他人の前へ出るにも身がひけるように感せられるとか、とにかく不具者でなければ判らぬような氣の毒な心理で何とかしてこの大きな顎を手術によつて癒してくれと再三部長の所へ手紙をよこした末、とう／＼入院したと云ふ話でした。云つて見ればまあ普通の健康者がですね、只身体の一部分の大きい小さいで入院したわけです。で勿論その三等の部屋には他にも別な病氣で入院してゐる人はゐますけれどもこの二人はそれ以來殊に仲良くしてよく夜遲く迄話合つてゐるのを見ました。所で貴方はこの顎の大きいのと小さいのと二人の男が初めてヒヨツクリ病室で顏を合した時どんな顏をしたと思ひなさる?。どうも說明がまづいので云へませんけれども、これは餘程兩方共感慨無量だつたらうと思ふんですね。

磐新歌壇

小山田滋選

『五反のぼり』 秋間 小路

○青空に五反のぼりの大鯉幟威猛り立てる男の節句
○金鱗の陽光(ひかり)をちらし浮動する風を孕らめる大吹流し
○一木の萬年青(おもと)にかゝる愛玩は四年つゞきぬ變らぬ青
○歸り來て古藤椅子に凭れきり身動きも憂しけだるき夕
○子供等のしきりに騷ぐ夕なり何かあるらしき空を感ずる

潮聲靜硯帳

舫ひゐる漁船に春の雨細し　矢吹 長貴
薰風や朱欄に巫女の立姿　片寄 文狂
きのふまで賣家なりしを青簾
行く春や小夜着被せたる孕猫
愛國機飛ぶ六月空偉なり
水無月やひろき墳の小さき橋　金子 石城
六月や街路樹はみな埃にて
矢車の音勇ましき五月晴
またなれぬ青梅せがむ子を叱る
病葉を拂ふて濟し庭八ッ手　高久 晚霞

手紙 (三)

伊納川 銀

貴女の短歌を僕に批評してくれと言つて來た時の僕は、まさに歡喜の極であつた。と言ふ事はいつかしら貴女に輕蔑されてる僕を感じてゐたからだつた。僕は出來るだけねらがつて趣味としての短歌上達でなく、藝術としての生活としての意識としての短歌研究であれと書いた。言葉の生命たるより生命の言葉であらねばならぬことを力說した。そして貴女の短歌を淺薄である陳腐であると罵倒したこの氣持、少くともインテリのニユーアンスを寂しい迄に持つ貴女が感じない譯はない。僕の氣持はちつとも女だからと言つて好きだからと言つて手加減するやうなそんな淺ましい氣持ではないぞ、光風霽月だぞと虛勢を張る事によつて、女性の歡心を顧慮せぬ机リュウ助の風貌を貴女に感じて貰ひたかつたのだ。少くともえらいと信じてゐる貴女を瞞すたつた一つの手だつたのだ。だが僕自身をそうでありながら、貴女から美事に反撥された時、さも意外であつたかの如く、簡單にぶちのめされてしまつたのである。狼狽と混亂と錯騷の意識の中から最初に來たものは『見損つた』と言ふ感じであつた。今考へて見ると僕の芝居は決して失敗はしてゐなかつたのだ。成功したからこそあの素直な反撥であつたのに。

そしてその時『見損つた』と言ふ感じは貴女に對してではあつたが今こそ適切に僕自身に投げかけられねばならないのだ。

それから僕はこうした素敵もない結論をでつちあげた。『男性は女性を輕蔑し女性は男性を輕蔑しお互の輕蔑から愛は生るべきものである』と『そしてたとひ相手がどんなにえらい女性であつても、それが女である事を必ず忘れてならない!』と、この僕のからつぽさとおつちよこちよいさを痛快にひれきしてゐる迷言を僕はいつまでも愛して行かねばならない。そうでないと僕は僕自身の敗北を自ら感せずにはすごせなくなるから。

だがこんな事よりも僕をあの一週間の慘な芝居の役者たらしめた事は實に貴女の僕の名前の呼び方に對する嘲笑であつた。

拈華微笑

◇オウテギ。非謝取りと痛い處を行く裁判官◇金、銀を巧に驅使する樽木棋仙◇之を眺める閑老の銅像、松ケ岡で微苦笑◇埒收で高値。賞興に昇給。春繭と鐵道員と今日の二快ニユース◇愈々夏氣分本格的となる○……○

社會の今日

6月15日

△北條泰時歿す(仁治三)△米國首府をワシントンに移す(一、八〇〇)△昌平校を大學と改む(明治二)△臨時議會閉院式△有爵議員候補選擧母体で夫々決定(昭和七)

○
刈り込みし門の生垣また延びて、梢そろはずなりにけるかな　落合 直文
梅雨畑に卷きひけしけぎ胡瓜かな　紅々

講談 剣火無情 (40)

津屋義人作 菅野祐作畫

罠に罹つた鳥 (四)

『佐太郎、早まつた事して呉れたの、何も手前が腹を切るにやア及ばねえものを!」

斯う言つて玉五郎は暗涙を呑んだ

佐太郎の妻お菊は、良人に取縋つて唯泣くのみであつた

松子は此時初めて心附いて

『小萬さん、確つかりたしなさいよ、玉五郎さんが來た爲め氣が弛みで倒れて了つたのかい」

斯う言つて抱起すと小萬はタラ／＼と口から血汐を流した

『オヤ、あれ程私が庇つてゐたに、お前さんに怪我をさせたかい、アア濟まない事をしましたねへ」

玉五郎も驚いて介抱しつゝ又二度吃驚

『ヤ、ツ、扱は二度目に打つた鐵砲で……コレ此胸の彈痕」

『アツ、何うしたら可からう」

『コリヤもう手當は叶ふまい……だが少しも早く醫者を……」

四邊にゐる佐太郎の乾兒を醫者へ走らせた

『この彈傷は、銀次が打つた鐵砲からだ、まだ手當が屆かねこともあるまへ、佐太郎の方も手遲れになつてはならねえ、早く近い所の醫者を二人でも三人でも呼んで來い」

乾兒等は慌だしく飛んで行つた、佐太郎は苦痛の中に手を振つて

『イ、ヤ俺ア親分への詫と田丸のお孃樣へ申譯の切腹だ、何うか……親分早く首をブチ落として下せえまし!」

小萬も松子の膝へ手を戴せて

『お孃樣、私や身分違ひの藝妓風情で、水戸御家老様のお孃樣と斯うして二月でも三月でも、姉妹同樣に暮して共に苦勞し合つた事をあの世への好い土產にして死んで參りますから何うか藤田小四郎樣にお會ひなさつたらは小萬が斯うまで思つて苦勞してゐた事を詳しくお話しなすつて下さいまし」

是も斷末魔の苦しみの中から漸く訴へて切なさうな息遣ひ

雄々しい松子も女性に復つて聲を放つて泣いた

『小萬さん、悲しい事を言つて下さいますなよ、大した傷ではない故お醫者の手當を受けて、藤田樣にお會ひなさいませ、氣を確かに持たねばなりませんよ」

一方大平山の引揚は奸黨朝比奈彌太郎の一派が如何なる策動をなすやも知れずと、田丸稲之右衛門は萬一を氣遣ひ、故意と時を後らせつゝ、秘密裡に途を變へて筑波山へ引揚る事としたのであつた

其途中欺かれて栃木へ馳行く結城の玉五郎に出會つたのは偶然か宿命か、玉五郎等の好運であつたのだ。詳細のいきさつが判つたので、小山思川佐太郎方を千人の大平山勢の休憩所と定め、先へ玉五郎が走つたのであつた。

佐太郎の家の破れた垣根から先鋒の兵一百を立てゝ田丸稲之右衛門と藤田小四郎は入つて來た

玉五郎は先づ之を迎へて

『穢若しい所へ能くお立寄り下さいました、さア彼方の椽まで……」

斯う言つた時、松子は

『父上、お懷しう存じます。藤田樣にも御機嫌好う……コレ此婦人に一目お會ひ下さいませ」

稲之右衛門松子を見て其面やつれした娘の顏に哀れと淚を催して

小四郎は松子に一禮してツカ／＼と小萬の側に立寄り、ジツと其顏を見た

小萬はもう息も絕え／＼である、松子は抱起して耳に口寄せ

『ソレ小萬さん、藤田樣がお見えになりましたぞ……小萬さん」

『オ、小萬か、能う來て呉れた、小四郎であるぞ……コリヤ小萬」

小萬はドンヨリとした目を開いて

『オ、小四郎か、もうお顏が見えませぬ」

小四郎は其手を握つた。

傍への佐太郎はガツクリ息が絕えて了つた

雨模樣の空は、人々の頭にオツ冠さるやうに暗澹として、杜鵑一聲裏山へ啼き去つた。

廣告

前田醫院
院長 前田清美
植田町電話一二四

電話開通
五一五番
五丁目 小野呉服店

コーン 鹽豚(ポーク)
ソーセージ 肉蒲鉾
田町 三二三屋

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
◎秤(はかり)ノ取(とり)・垂(たれ)・糸(いと)・緒(を)・修(しう)覆(かへ)致シマス
關內藥局
電話四〇番

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井阪醫院
平町田町(元合津醫院跡)
電話五五九番

月掛提供
六月十日は時の記念日
十日ヨリ二十日マデ
腕時計記念セール
クローム側一割引
小型置時計…貳圓より
金光堂時計店
平五丁目 電一九五

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物
(久) 釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

專門大家が畢生の苦心
絕對の『治淋藥を完』成强力の注射原藥を內服さす
創製者 間部 藥
責任保證 リン病 消渴 間部淋藥
淋菌は此の藥位强烈でないと死滅しない。
初期にてウミいたみ、コシケある方は勿論ツマラヌ家傳藥危險な法人藥熱療器等に懲りた慢性患者は必ず此藥の卓越性を發けんす
(特長の一)此藥は性病及尿科の大家特に淋病消渴治療の權威東京銀座…間部醫院長間部かほる先生が畢生の研究の結晶なり
(特長の二)先生が病院で毎日患者に使用してゐる獨特の注しや原藥を主劑として之に洋やくの粹が配され殺菌力强大なり
(特長の三)服用强烈な殺菌力を有する注しや原藥が全部尿に混り放尿毎に尿道粘膜下の深部の淋菌迄撲滅す
(特長の四)患者自身の洗じよう注入は慢性やコウ丸炎又は婦人ならばうこうカタルになる恐ろしい危險があるが本劑は自然に內部からによう洗じようされ菌を一掃するから絕對其心配がない
(特長の五)じよう劑の藥効が强いに絕對副作用なく安心して服める
【註文】は來防カワセ振替代引でまうし込次第急みつ送す
【藥價】一週(輕症)參圓 惡性(五圓) 送料十二錢
(各種有名賣藥アリ)
福島縣平町三丁目三〇
一般藥品 賣藥化粧品 醫療器械
星チェーンストア平支部
ホシ藥舖
電話四二九番

本日より!
うなぎ丼始めました
並丼 金三十錢
細丼 金二十五錢
蒲焼 金四十錢
柳川 金二十錢
◎外にうなぎごちようさき賣り致します…。
平町三丁目警察通り
川松うなぎ食堂
電話(呼)四六七番

難波醫院
內科 小兒科
醫學博士 難波睦
平町新川端櫻堤
電五〇二
(…入院隨時…)
看護婦募集

內外 建築材 建具材
(入) 阿部材木店
磐城國平町(公園下)
電話四九四番

夜間診療
胃腸 內科 十二指腸虫病 專門
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 專門
松村胃腸性病科醫院
(平町南町電一〇七番)

高久病院
平町田町 (電話五三二番)
內科 外科 耳鼻咽喉科 花柳病科 小兒科 レントゲン科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹修

吉田眼科病院
平町紺屋町

相被告の自白と遂に終始犯行一切を否認

排斥を目的に虛僞の陳述だと語る

小名濱築港疑獄事件の主役

昨報—小名濱築港疑獄事件續行公判、午後三時（十三日）裁判長は馬目に樗木の溫泉旅行要求、東山に於ける百三十餘圓の饗應、割栗石金納入延期及長岡と謀り樗木に百五十圓の小切手を交付後暑中見舞名義の百圓提供に就て、鈴木同樣の訊問あり、同四時十五分休憩、同四十五分再開長岡から

自分は謝禮金三百圓の相談には乘らず割り前として百圓を出した迄である

事を聽取した、時に五時五十分、夕闇迫るも傍聽者は依然場外に溢れ愈々オウテ木の訊問に入る

先づ贈賄人の供述及溫泉旅行の件から宿帳の出鱈目記載の事や、從來小口の拂ひ戻しを續けて來た妻子の貯金通帳へ一昨年四月十八日四百圓、同二十三日四百五十圓の大口貯金をしたのは收賄の結果でないかの間に對し俸給、貯蓄金、年末賞與の金である

と述べ、最後に

自分は割栗石延期に際し容易にその願を容れなかつた結果關係者の事業上に支障を來した爲排斥の策謀に出た虛僞の供述ではなきか

と徹頭徹尾その犯行を否認同八時第一日の公判を打ち切つた

俸給受領日を訊問

今正午迄の二日目公判

第二日目は今十四日午前十時開延裁判長先づ久保田にオッテ木が當時に於ける休職に際しての登記に就いて約五分間訊問、更にオッテ木に對し

昨日の續行訊問の外當時の俸給受領日其他數項に就いて

約三十分間訊問した後辯護士側の申請に依り、安齋、松野尾、門傳、武田、小林（東京）の順にて各受持被告に對し二、三不明の點を問ひ、終つて門傳辯護人より內郷村島田粂吉氏外三名の新證人申請あり正午一時休憩す

春繭二割增收豫想

六十二圓の高値に

地方養蠶家意氣込む

郡下の春蠶は十七日頃から弗々出廻るが稚蠶當時から順調な天候に惠まれ桑不足も他方面に比較すれば大した支障もなく彼此約二割の增收を豫想され相場も期待通り十一日平町木村支店で行はれた御祝儀相場が六十二圓の高値を見たので養蠶家は何れも非常に意氣込んでゐるが上簇期に於ける遺蠶を懸念した蠶業取締平支所では今十四日左記注意書を各實行組合員に配布し萬全を期する事となつた

一、病蠶や斃蠶特に上簇中の斃蠶は蠅蛆の寄生虫が多いから必ず肥溜の中に投入する事　二、玉繭や屑繭を自家用とする場合は上簇後十一日以內即ち發蛆前に最寄りの乾繭装置により乾燥する事又賣るにも十一日以內たる事其他

星氏後援會

けふ發會準備協議

平町新田目春松氏新妻磐女致諭其他町內有志よりなる星一氏の後援會では來月十日星氏の來平を企圖し同氏

後援會の發會式を擧行することに決定、十四日午後七時から平町マルトモホールに打合せ會を開催した、因に當日は先般來在京磐中出身者會及び地方有士間に考慮されてゐる造士會改革問題に就ても論議される筈で星チエンストア關係者も參集すると

簡保相談所時間改正

平簡易保險健康相談所の取扱時間は來二十日から午前九時より午後四時迄（土曜日も同樣）に改正するが來月二十一日から八月一ぱいは午前八時より正午迄であると

八月末に出來上る第三校の新偉容

あすから增築に着手

平第三小學校の增築請負入札は昨十三日午後一時から平町會議事堂で十九名の指名入札を行ひ一萬二千三百八十圓で平町丸山組事丸山慶治氏に落札したが該工事は玄關に面した北側校舍を二階建に改築し東西に階段を設け現在の十六教室を二十五教室に增加し新に五百四十名の兒童を收容せんとするもので明十五日から着工し八月二十五日竣功の豫定である

日支事變講話

平第一校では日支停戰條約の成立に關し今十四日該事變の講話を試みた外左記死傷者數を掲示し全校兒童の注意を喚起した

	死歿	戰傷
滿洲上海	二、四三〇	六、五三六
熱河	三〇九	一、一二四
關外戰	一五六	七三三

自動車に荒さるる驛前廣場を改修

常磐線下り步廊延長と併せ

けふ水運に申請

本驛では自動車の出入頻繁から驛前地面を破壞され降雨期に泥濘飛散して乘降客の迷惑一方ならぬものあるので數年來之が改修を計劃中であつたが愈々鐵道省の卅年度改良工事として驛前廣場の鋪裝及廣場道路間に延長六十米の排水溝設置方及從來一列車がホーム外に在る爲め不便少くなかつた現在二百米の常磐線ホームを東部に二十米延長方を今十四日水戸運輸事務所に申請した

磐炭入山で坑夫募集

各社の活氣漸く表面化

昨報の如く近來頓に有卦に入りつつある地方炭界は各鑛共從業員に不足を來し目下磐炭百名、入山五十名の坑夫を募集中である

ボーナス三萬圓

加之に定期昇給も發表

悅に入る平町の鐵道員

代表的の一部大炭鑛等を除き郡下諸會社邊の勤め人は昨今の不況に給料さい滿足に貰えれば上の部として諦めてゐる折柄景氣の良い鐵道では明十五日平驛關係五百五十名に對し八割乃至十六割の上半期賞與を給與される外全從業員總花的の定期昇給が發表される模樣で賞與と昇給の二重奏に鐵道員は何れも惠比須顏である、因に昨年のボーナスは左の如く今回も之れと大差がないらしいと

△平驛—一五七人一〇、四三四圓　△機關庫—三三四八二三、六八八圓　△保線區四〇人二、〇〇〇圓

磐中軍優勝

對平商の競技成績

昨報—磐中對平商の競技會に於ての優勝者左の如く磐中獨占の形である

百米一一秒三磐中金成令宣、二百米二四秒一同校同人、四百米五九秒同杉山伊雄、八百米二分二〇秒同鈴木五平、八百リレー同一分四六秒、五千米一八分一五秒鈴木五平、走高跳一米六一平商齊藤三男、走巾跳六米三七金成令宣、三段跳一二米六八磐中金成令宣

。。。。ピンポン試合　磐中對平稅務署のピンポン試合は來る廿日午後二時から磐中に於て行ふ

。。。。豊間村助役決定　永らく欠員中であつたが昨十三日の村會で山野邊茂五郎氏に決定した

炭鑛小唄懸賞募集

（要旨）地方炭鑛讀込み、四齣を標準とす

締切　六月二十日（二十六日審査發表）

賞金　一等十圓、二等五圓、三等三圓

宛　磐城新聞社

磐城新聞社

一味の裁かるる日

昨夜平支部公判傍聽記

水銀柱が八十二度內外を往復してゐる廷內で辯護士席、傍聽席のそこ此所にハンカチや扇子が動く、野次氣分な私語を封ずる小聲さへ際立つて聞ゐる程の靜けさ。本間オリンピック選手の体操講習に出た磐中歸りの小學校教員が四五人、中に湯本校の大木女教員の紅一點が目に立つ

○

『小切手問題には不審の點がうんとあるぞ、法廷で嘘を云ふな、裁判長の頭や目は素人と違ふぞ』儼とした中島裁判長。顏面神經に忙しい動きを見せて眼鏡を掛けたり外したり、廷內は息づまるやうな緊張に霎時沈默が續く

○

長岡の訊問に次いで愈々疑獄劇の主役樗木が立つた『住所は小名濱定西親父は現存してゐます、山形屋に遊んだ事も溫泉行も私は知りません』知らぬ一點張りに裁判長がそれ見た事かと許り出した藝妓の羽織に廷內時ならぬ濃艶な氣分が漂ふ『この貯金通帳はどうだ』『知りません、ないことは云ふ必要がありません……』『ではどうして高木、久保田がそう云ふのだ!』『私の樣な立場になると隨分その地位を惡くしようとないことを何んのかんのと云ふ人がありますと』ピンチな場面だ

○

帝大學工學部を卒業し橫濱から仙臺の土木出張所へ……と過去の經歷が徐ろに語られる。——頭がいゝ人だ、惜い人物だ。傍聽席から私語が洩れる——城山の晩鐘も鳴つて法廷には電燈が光つた、廷丁の白い洋服!。高橋、菊地兩警部補が椅子から立つたり、掛けたり、腹が北山の連中が、長い公判だな——と些が倦き氣分が漂ふ

○

小林檢事は論告のアウトラインでも練るのか目をつぶつて沈思、關口判事が法冠をとつて毬栗頭を搔く。中島裁判長の樣子に變りはない、外はもう眞暗だ。八時一寸すぎ、裁判長は訊問を打ち切つて證據物件を一つ一つ各被告に見究めさせ今日の打ち切りは宣せられた。初夏の夜風に若葉香る八幡小路の街燈は夜霧の裡に咽ぶかのやう光つてゐた

（一記者）

食物の消化時間は?

第二校で印刷物配布

平第二校では漸く惡疫流行季に入つたので今十四日左の如き食物の消化時間程度の印刷物を兒童に配布傳染病の豫防に資せしむる事になつた

牛乳（生）二時三〇　リンゴ同　蜜柑同　おかゆ一、四五　葛湯二、〇〇　麥湯二、〇〇　雞卵（生）同　米飯二、一五　豆腐（生）二、一五　タケノコ（水煮）二、一五　馬鈴薯（油揚）二、三〇　魚（フライ）二、三〇　餅（燒）同　マグロ（生）二、四五　そうめん（水煮）二、四五　鯛（水煮）二、五〇　甘藷（水煮）三、〇〇　食パン三、〇七　牛肉（蒸煮）三、四五　蒲鉾三、四五　雞肉（蒸燒）四、〇〇　鹽さけ（燒）同　豚肉（水煮）四、〇七　うなぎ（蒲燒）四、四五

首魁は懲役

小名濱疑獄の求刑

午後一時二十八分より公判續行長岡に對し簡單な訊問あつた後檢事より昨報の如き贈賄並收賄人の罪狀を逐一論告した後

懲役一年六ヶ月　オウテ木篤夫

懲役六ヶ月　久保田　巽

罰金百五十圓　鈴木　省三

長岡　義守

懲役三ヶ月　馬目　雄次郎

罰金百圓　高木　武士

の求刑あり辯護に入つた

（午後二時三十分記）

磐中人國記（三四）

赤井嶽男記

第十二回生の卷

◇ブロークンを發揮

十二回生の總論は大体に於て濟んだが愈々その各論に入るに先立ち、所謂今昔の感興を喚る一材料として曩に書いた第二回英語講演會中此回卒業生に關係のある分を抄錄しやう、卒業の前年即ち明治四十三年十月八日、一空萬碧金風颯爽、而して英姿も亦颯爽としてステージに立つた四年生の粒選りである

THE BRAVE THREE HUNDRED

四甲　山田政好

勇敢なるスパルタのレオニダス王が波斯の大軍をホルモピレに扼し三百の勇士を率ゐて奮擊突戰遂に敗れて戰死した、その勇敢なる物語りが今勇敢なる山田君の唇から迸り出た。調子が詩の朗讀染みてゐたが激越にして高調なる、恰も捲き返す波の調べの其れにも似て甚だ感興を促した、調子の可否はわからぬが骨鳴り肉躍るレオニダスの話として寔に相應しい印象を與へられた事は確かである

THE MISER PUNISHED

四乙　酒井淸、吉田正男、吉田熊次郎

こんな陳腐なダイアログも演者次第で面白くもなる、冷酷傲岸なるシミックレ（正男）の表情は遺憾無く發揮されてゐたし正直者（熊次郎）は如何にも柔順な態度であつた百圓取つたとかいや取らぬとか押問答をしてゐる處へ、見るから恐ろしい仁王のやうな裁判官（酒井）が登場、正義の判決を下す。客齋先生またツベコベ陳述するを『サイレンス』と怒鳴りつけた時は講堂內がグワーンと響いた六百の目玉がデングリ返つた

HOW I TURNED THE GRENDSTONE

四乙　高橋菊雄

瀟洒たる態度、やはらかな發音、之れを要するに君の全部は穩和の二字に盡きてゐる、正札附値無しと云ふ處で君はうまい。實にうまいと褒めるよ、但しこれは演壇の前に居た者の觀察である。若し演壇から五間離れて君の語を聽き得たる人があるならばその耳は重すべきものであると思ふ餘り君はおとなし過ぎる從つて聽衆の心を纒める力が薄かつた、よく消化された英語で發音も氣に入つたが只低聲のみが返す返すも憾だ

TEE BLIND AND LAME

四甲矢吹一男、黑田保慶

二人共上手だ、訓盲院の生徒そこのけの矢吹君、大沈着の黑田君、何れも大によろし。云々

今から顧みて當日の出來榮えの良し惡しなどは問題で無い。其の頃の山田一磐子やメンチャンや酒井醫博の面目が前記の中に躍如たるが微笑ましいではないか

湯治場荒し

四倉署へ檢擧さる

大野村玉山藤屋旅館事高木勝太郎方に去月三十一日より投宿十一日散步を裝うて逃走した男を平塚駐在巡査が双葉郡新山町で取り押へ四倉署に連行取調べの結果右は安積郡月形村字船津八五五無職詐欺窃盜前科四犯瀧田乙（三九）で去る三月高崎刑務所を出て本縣に入り込み湯治場を專門に窃盜詐欺を働き居た者と判明引續き取調中

野球界だより

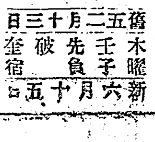
。。。。平局對世界館　昨十三日午後三時から第三校で八對六。世界館捷つ

。。。。平局郵便對工務　來る十八日午後二時から第三校に於て擧行

。。盜癖　四倉町仲町鎗掛け職吉成好一內妻タマヨ（三五）は去月二十一日久之濱町橫內鈴木義太郎方の不在中より現金二圓六十錢、同日同町小松文治方二圓、昨十三日午前十一時頃四倉町仲町古物店渡邊豊吉より二圓五十錢を何れも窃取し、四倉署山田刑事に捕はる

。。デフ　夏井村眞越鈴木正

舊五月二十三日　木曜　壬子　先負　破　室宿　新六月十五日



諸判定總署

東京市本鄉區湯島四丁目五番地

高島易斷總本部　神易館

▲一白の人　求めずとも利じゆん自から湧き出づる幸運の日▲二黑の人　心に期したる事は猶豫なく計畫するに吉し▲三碧の人　當て事と何とやら兎角外れ勝ちの日謹注意▲四綠の人　人を强ひず我も强ひられず寬のあるが吉し▲五黃の人　障がいな物ともせず勇奮して寸前尺進すべし▲六白の人　愛は折るゝもたゆまず進め次第に交通する日▲七赤の人　斷崖の細路を夜步きする如し足元注意肝要▲八白の人　辛苦の果ての明かさを見るが如し起業に吉▲九紫の人　人の爲めに迷惑を受くる事あり世話事は凶

小名濱町會議員候補者

推薦

堀越定吉君

大小名濱の町政に參劃する町會議員として公事に處するに一點の私心無く只管町勢の伸展と町民の福祉開拓に精進する同君を最適任者として推薦し極力その當選を期す

責任者　平町仲町一四　星敏夫

轉居お知らせ

舊居在住中は一方ならぬ御厚情を辱ふし難有奉深謝候。今回都合により田町六十五番地中島寫眞館裏へ移轉致し候に付倍舊の御交誼相仰ぎ度乍略儀以紙上謹告候也

六月十三日

元壽々喜亭　鈴木寅次郎

お醬油は……ヤマフル

鹽　屋

山崎合名會社

福島縣平町

電話（營業部一〇番）（本店二七番）

味噌　醬油　たひら正宗　鰹節　食料品

明治生命磐城代理店　山崎與三郎

屋根材の大王（日の出太陽印）便利瓦

耐久力優二十ヶ年以上

壹坪　葺上　八十錢內外

日本建築紙工株式會社

磐城代理店

銘木　ベニヤ板　天井板　建具材　內外木材

建築材料ノ御用命ハ是非當店へ。

㊍織田材木商店

平町字紺屋町四〇　電話四六〇番